

十条富士見中学校新築工事



『豊かな心と体を育む空間』

3つの整備方針

伸び伸びとした
広がりのある
学校づくり



「やる気」に
応える
学校づくり

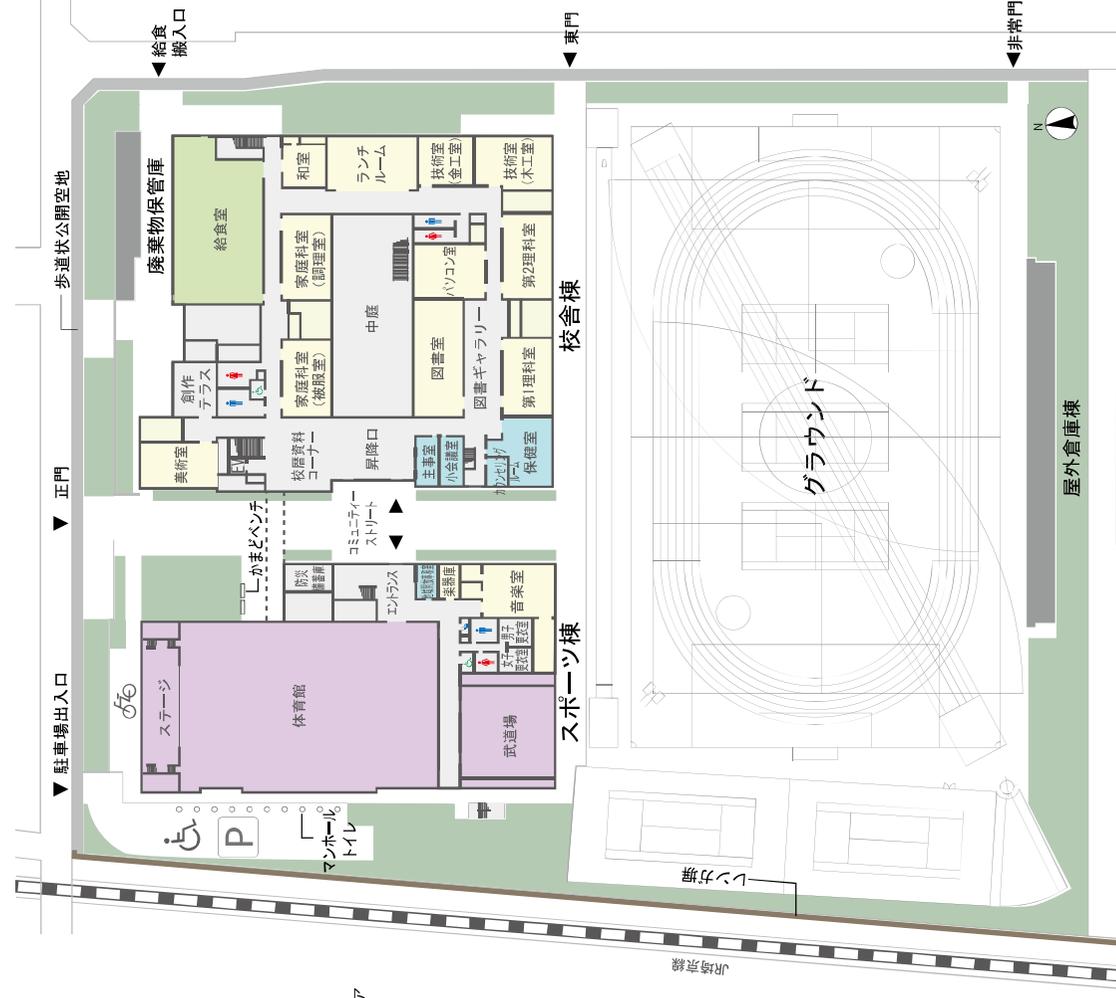


周辺地域と
調和のとれた
学校づくり

1F

凡例

- 管理エリア
- 普通教室エリア
- 特別教室エリア
- 体育エリア
- 給食エリア
- 共用廊下等エリア



+ 建物配置及び1階平面の考え方

北側周辺/住宅への威圧感を軽減するため、校舎棟とスポーツ棟の2つの棟に分け、渡り廊下でつなぐ配置としています。2つの棟の間には外部の主動線であるコミュニケーションストリートを設置し、見通しの良い安全な動線としています。

校舎棟の中央に中庭を設置することにより、明るく、風通しのよい学校としています。また、特別教室を1階に集約配置し、豊かな学習環境をつくと共に、中庭・テラス・屋上庭園という外部空間を設置し、生活環境の充実も図っています。

スポーツ棟については体育館に隣接してマンホールトレイれやまどベンチを設置し、災害時避難施設としての機能も充実させています。



+ 正門

植栽やレンガで囲まれた明るい正門です。右手にスポーツ棟、左手に校舎棟、正面には2棟をつなぐ渡り廊下を配置し、地域の人々が生徒の活動を垣間見ることできるようにしています。



+ 体育館

地域開放利用を考慮し、地区体育館として整備しています。競技中の観客席として、コートそばにベンチを設けています。



+ 図書ギャラリー

吹抜上部窓から光が入り、明るく開放的な場所です。本の閲覧や自習スペースとして活用することができます。



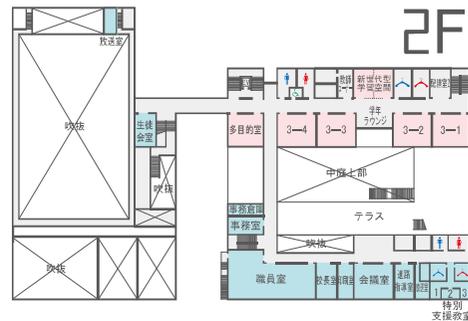
+ 武道場

壁には鏡を設置し、ダンスレッスンにも対応しています。換気のため、倉庫床下から外気を取り入れることができます。



+ ランチルーム

中庭越しに昇降口まで見通しがきく、明るい部屋です。隣接する和室と一体的に利用することも可能です。



+ 学年ラウンジ

普通教室ゾーンの中央で南側に面した位置に、各学年用の明るいラウンジを設置しています。



+ 中庭・テラス

1階中庭、2階テラス、3階屋上庭園を大きな階段でつなぎ、連続させています。中庭・テラス越しに光や風が各教室に入りやすくしています。校舎棟での様々な活動をガラス窓越しに見せる工夫により、活気のある学びの場をつくり出しています。



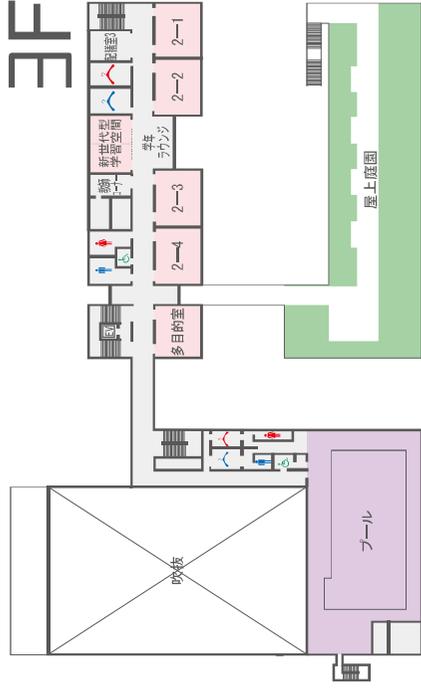
+ 普通教室

掲示壁となる木質系素材壁の使用により、温かみのある教室としています。窓にはLow-eガラス(低放射ガラス)を使用しています。



+ 新世代型学習空間

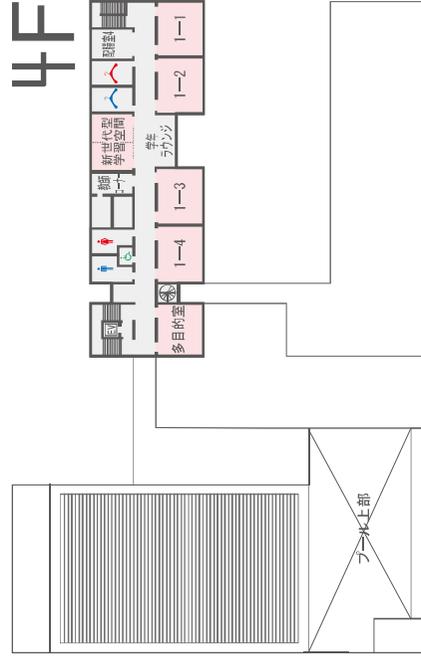
学年ラウンジとの一体利用も可能としています。可動間仕切り壁により少人数学習やグループ学習に対応しています。



+ プール 日射を遮るための庇を設置しています。プールの水は災害時の消防水利、マンホールトイレ用水として利用します。



+ 屋上庭園 豊かな生活環境をつくるため、普通教室から見える屋上庭園を設置しています。十分な高さを持つ手摺を周囲に設置し、安全性を確保しています。屋上緑化により日射から受ける熱負荷を低減する効果もあります。



+ 教師コーナー 生徒が教師に相談をしたり、教師が授業の準備を行うためのコーナーを設置しています。

+ 環境に配慮した取組み



太陽光発電パネル

校舎棟屋上に10kWの太陽光発電パネルを設置しています。昇降口付近の画面で、発電効果を示しています。



自然換気窓

体育館上部、校舎棟階段上部に自然換気窓を設置し、外部が無風時でも、自然換気を効率的に行います。



屋上散水

スポーツ棟、校舎棟屋上に雨水を再利用した散水設備を設置し、冷却効果で室内環境を向上させています。

